参考資料２
大学病院運営の構造転換に向けた
方策に関する検討会（第２回）
R8.11.24

大学病院運営の構造転換に向けた方策に関する検討会について

令 和 ８ 年 ９ 月 11 日
文部科学省高等教育局長決定

１．目的

大学全体が経営努力を求められる中で、大学病院は長きにわたり、診療を拡大し収益を上げる努力をしてきたが、その一方で、本来の機能である教育・研究に注力しにくい状況となっている。

また、政府として一定の対策を講じつつあるが、近年の物価・賃金の上昇等に伴い診療面を中心に増収減益となり、厳しい経営状況の改善は引き続き課題となっている。

更に、大学病院に所属する医療従事者の処遇が十分でないことなどにより、人材確保が困難となっている。

今後より一層、大学病院には、次代の医療人材を育成する教育機能や医学・医療の発展を先導する研究機能に加え、地域医療における中核としての役割が期待される中、大学病院を巡る危機から脱却し、地域医療の最後の砦として持続的にその役割を果たしていく必要がある。

このため、大学病院運営の構造転換に向けた方策に関する検討を集中的に行い、各大学の変革を促すとともに、国等の施策の在り方を大きく見直すこととする。

２．検討事項

（１）大学病院が果たすべき役割と、教育・研究・診療のエフォートのバランスの在り方
（２）大学病院の役割を果たすための組織（法人形態を含む）・体制（必要な教職員数等を含む）・経営の在り方
（３）大学病院の経営基盤、教育研究環境の強化と地域貢献の促進
（４）大学病院に所属する医療従事者の処遇改善をはじめとする大学病院の魅力向上に向けた方策
（５）その他

３．検討体制

別紙のとおり

４．実施期間

令和８年９月 11 日から令和９年３月 31 日までとする。

５．その他

本検討会の事務局は、関係各課及び厚生労働省の協力を得て文部科学省高等教育局医学教育課において担い、検討状況や結果は、適宜適切に関係機関等への報告を行う。

大学病院運営の構造転換に向けた方策に関する検討会　委員名簿

石井　　優	一般社団法人全国医学部長病院長会議会長 大阪大学大学院医学系研究科長・大阪大学医学部長
磯部　真倫	岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学教授
今村　英仁	公益社団法人日本医師会常任理事
大鳥　精司	一般社団法人国立大学病院長会議会長 千葉大学医学部附属病院長
清元　秀泰	姫路市長
相良　博典	一般社団法人全国医学部長病院長会議副会長 昭和医科大学病院長
嶋　　緑倫	奈良県立医科大学長
炭山　嘉伸	一般社団法人日本私立医科大学協会会長 東邦大学理事長
武林　　亨	慶應義塾大学医学部長
武村　雪絵	東京大学医学部附属病院 病院長補佐・看護部長
田中　純子	広島大学理事・副学長
中村　洋心	新潟県福祉保健部長
野口　　満	佐賀大学医学部附属病院長
林　由起子	東京医科大学理事長
寶金　清博	北海道大学総長
本田麻由美	読売新聞東京本社編集局編集委員
山口　育子	認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長
和田　隆志	金沢大学長

計 18 名

（オブザーバー）

廣田　　貢	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部計画課長
南野　圭史	文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長
中田　栄介	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長
中谷祐貴子	厚生労働省医政局地域医療計画課長

※敬称略、五十音順

令和８年９月 11 日現在